



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	カネックス株式会社
所在地	鳥取県米子市大篠津町 690-15
代表者	代表取締役 金田 孝成
業種	製造業
事業概要	生コン販売、アスファルト製造販売、産業廃棄物中間処理業 コンビニエンスストア運営

とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名:カネックス株式会社]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

わたしたちは、「経営を通じ人々に感動を与え続けながら、お客様の維持及び増大を通じて地域・社会に必要とされる存在になること」を経営理念とし、昭和 32 年の創業以来、生コン販売・アスファルト製造販売・産業廃棄物中間処理業を中核事業として発展してまいりました。時代に求められる製品やサービスを的確に提供し、事業の発展を通じて地域へ貢献し続けなければならない。それが、創業当初からカネックスが貫いている想いです。

コンクリートやアスファルトは、何十年も形となって残るものです。将来、長きに渡って持続する地域の社会インフラ、生活インフラを創り上げる仕事です。「仕事を通して地域貢献できている」「日々の暮らしの中で、確実に地域の人々の役に立っている」そんな実感を、目に見える形で持ち続けることができることが私たちの仕事の誇りとなっています。

弊社は「無理なく・無駄なく進められる SDGs」をテーマに、2030 年に向けて SDGs の達成に向けたイニシアチブを進め、従業員一人ひとりが SDGs に貢献する意識を持つ企業となることを目指しています。そのために、社員研修などを通じて、SDGs に関する知識を深める取り組みを進めています。全従業員が携帯する経営計画書に「SDGs 経営」を掲げ、会社全体で SDGs に取り組み、従業員の意識向上に取り組んでまいります。SDGs を意識した事業活動と社会貢献活動を組み合わせることで、従業員一人ひとりが SDGs に貢献する意識を持つ企業として社会的な価値を高めてまいります。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会1 労働災害の防止

社会3 女性の活躍

社会 10 地域社会への貢献

経済8 デジタル化による生産性向上

経済9 雇用の維持・拡大

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

■労働災害の防止

【正の影響】従業員の安全確保、従業員のモチベーション維持

【負の影響】作業効率の低下

労働災害が発生すると、被災者の身体的・心的ダメージはもちろんのこと、生産性低下や賠償義務なども発生する可能性があるため、従業員のためにも企業の存続のためにも安全確保は最優先しなければならない。

■社会3 女性の活躍

【正の影響】多様性が確保されより良いアイデアが生まれる、人材を確保しやすくなる、男女共同参画の推進

育児や介護などはまだまだ女性に負担がかかっている側面があるので、女性の活躍を推進すると同時に男性の育児休暇や介護休暇取得の推進を検討しなければならない。

■社会 10 地域社会への貢献

【正の影響】企業価値の向上、地域社会への金銭面での貢献、地域社会との交流が深まる

【負の影響】人的負担、経済的負担

イベントやボランティアの参加によって通常業務に支障が出ないよう、先んじた計画が必要となってくる。

■経済8 デジタル化による生産性向上

【正の影響】業務効率の向上、働きやすい環境の整備、ワークライフバランスの確保

【負の影響】システムやツール導入に伴う初期投資の負担、デジタル格差の拡大、コミュニケーションの希薄化

社内でデジタル格差が拡大してしまわないよう、知識・スキルの均一化をすすめていくことが必要である。

■経済9 雇用の維持・拡大

【正の影響】新卒・中途採用による組織の活性化、企業文化に沿った人材育成が可能になる

【負の影響】新規採用者の教育に時間・人手が必要

雇用維持により、人口減少に伴って地域社会の活力が低下することを防ぐことにもつながる。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】 安全衛生管理体制を組み、安全管理規定を整備している。 毎日の朝礼でKY活動(危険予知)を行い、リスクアセスメントを行っている。 部門会議にて発生件数を報告し対策を決定している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 労働災害ゼロ(毎年) ISO45001 認証の取得(2023年7月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 外部のISO 専門家にコンサルティングしてもらいISO45001のルールを決めてPDCAサイクルをまわしていく。</p>
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】 就業規則および経営計画書内にセクハラ・パワハラなどのハラスメントを防止するためのルールを設け、共有している。 相談の窓口や従業員の声を集める機関として、組織文化委員会を設置している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ハラスメントの申し出0件(2023年度以降)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ハラスメント防止について社内勉強会で共有する。(年1回)</p>
3	女性の活躍	○	<p><KPI> 全従業員に対する女性の割合 37.9%(2023年3月時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 28.6%(2023年3月時点)</p> <p>【主な取組】 人事考課基準、昇進昇格基準等を明確にした人事制度。 女性従業員のライフステージの変化に伴う離職を防ぐ仕組み作りとして、育休中の面談・復帰後の働き方相談を実施している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> 全従業員に対する女性の割合 40%(2026年時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 30%(2026年時点) 育児休暇からの復帰率 100%</p> <p>【目標達成に向けた取組】 求人情報やインターンシップを活用した女性の積極採用。 育休復帰後の時短勤務やリモートワークの導入を検討する。</p>
4	障がい者が働きやすい職場づくり ★従業員数が43.5人以上の企業の場合は、法定雇用率を満たしていること	○	<p><KPI> 障がい者雇用者数1人(2023年3月時点) 雇用率 1.7%(2023年3月時点)</p> <p>【主な取組】 個別の事情に配慮した雇用契約の締結。 通院のための勤務時間の配慮。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> 障がい者雇用者数2人(2026年時点) 雇用率 3%(2026年時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 現在雇用している方に長く働いてもらえるよう、コミュニケーションをとり、環境を整える。 障害者雇用を視野に入れた規程整備を進める。</p>
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】 外国人(語学留学滞在中)の雇用と教育。(2022年より1名) 多様な人材が活躍できるよう、経営計画書に「採用・登用に関する方針」を記載し、価値観を共有できる人材を育成する。 定年後、希望が合致する内容で再雇用。 意欲が高く価値観を共有できる従業員は非正規から正社員に登用する。 非正規社員でも仕事の役割によってはグループ・管理職などの役職手当をつける。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 非正規社員の社員登用1名(2026年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 非正規社員に向けた正社員へのキャリアチェンジ説明の実施。</p>

6	多様な働き方の促進	○	【主な取組】 リモート勤務の許可。 5日間以上の長期有給休暇を導入。 有給休暇取得率60%以上を維持。 残業時間を見える化し月25時間以下に管理。 (1人あたり) 正社員全員健康診断を受診。(年1回)	【今後の目標・達成時期】 有給休暇取得率65%以上(2026年) 非正規の従業員も含め健康保険に加入している従業員は全員健康診断を受診できる環境にする(2024年) 【目標達成に向けた取組】 有給休暇取得率の低い従業員に対して、業務量を調整し全員が60%は取得できる状態にする。
7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 年齢・性別・障害・宗教などに関わらず機会均等を確保している。 厚生労働省・鳥取県主催の公正採用選考人権啓発委員会研修への参加。 違法残業排除、賃金未払いゼロ、衛生面の確保などの労働条件の確保。	【今後の目標・達成時期】 匿名でも労働状況に意見できる意見フォームの設置(2023年) 【目標達成に向けた取組】 社内勉強会にて残業時間の見える化や違法残業排除について共有する。(年1回)
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 経営方針に「お客様本位」「即決定・即実施」を掲げ、スピード対応を徹底している。 ISO9001の基準を満たし安全と安心を第一に考えた商品の提供。 クレームが発生した場合はチャットワークで内容を報告し、解決するまで何度も顧客のもとに足を運ぶ。再発防止のために原因の追究とマニュアルの改訂、ロープレを実施する。	【今後の目標・達成時期】 お客様からのお問い合わせやご意見に対する3営業日以内の対応(毎年) お問い合わせ未対応0件(毎年) 【目標達成に向けた取組】 ISO9001の品質マニュアル・ルールに沿ってPDCAサイクルをまわし品質の改善を継続的に実施する。
9	地産地消	○	【主な取組】 取引業者は県内の事業者を積極的に採用し、共存共栄を経営に位置付けている。 (燃料販売業者・WEB編集業者・税理士・運送会社など) 店舗販売にて県内産の商品を販売。 (ドリン・どら焼き・ホットケーキなど)	【今後の目標・達成時期】 県内での取引・資材調達件数を1件増やす(2026年) 【目標達成に向けた取組】 地元の企業が製造する良質な製品・サービスを探し導入を検討する。 県内・地元企業のビジネスマッチングの機会に積極的に参加する。
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 白砂青松ボランティアへの参加。 大学生の職場体験を受け入れ、工場内見学や作業体験を毎年10名程度実施。 従業員が地域貢献活動に取り組むことを推奨。 ビーチバレー大会、米子市民レガッタ大会、皆生トライアスロン大会、サッカーチームガイナレ鳥取への協賛。 諏訪神社のお祭り・Unicefへの寄付。 コンビニ店舗での募金活動。	【今後の目標・達成時期】 地域への貢献を経営計画に盛り込み、実践していく(2024年以降毎年) 【目標達成に向けた取組】 どの地域イベント、どの機関へ協賛・寄付を行うか決定する。また、協賛・寄付状況を社内周知することで、従業員の地域貢献意識向上をはかる。

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 事業継続計画(BCP)を策定。 BCM 検証(パンデミック)を受審。(2022年10月)	【今後の目標・達成時期】 非常事態が発生した場合でも継続して業務を遂行し、継続的な発展を目指す。(2024年) BCM 検証を継続的に受審(2年に1回) 【目標達成に向けた取組】 鳥取県版企業 BCP モデルを参考にし、社内協議の上、BCP 内容を改善していく(年1回)
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 情報セキュリティ基本方針を定め、HPに公開。 セキュリティアクション宣言(二つ星)。 監視カメラおよびSECOMの設置。 ウィルス対策ソフトの導入及び定期的な更新。 クラウドへのデータ自動バックアップ。 採用時誓約書に情報漏洩防止内容記載。	【今後の目標・達成時期】 情報漏洩0件(毎年) 【目標達成に向けた取組】 個人情報や機密情報を入手した際の利用・保管ルールを明確にする。
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	【主な取組】 顧問弁護士・社労士・税理士・弁理士と連携し法令違反防止・早期発見・相談・対処の体制を整備している。 ISO14001に含まれる法令遵守の項目をクリアしている。 経営計画書に運転に関する方針を定め、道路交通法を守るよう周知している。 運転アルコールチェックの実施。 安全運転記録証明書を発行(年1回) 社労士と連携して労働基準法に基づいた就業規則の見直し(毎年)	【今後の目標・達成時期】 法令違反件数0件(毎年) 【目標達成に向けた取組】 コンプライアンス規定を作成し、全従業員に共有する(2026年)
4	情報公開	○	【主な取組】 HPで事業活動・経営理念・代表メッセージを公開している。 HP内にSDGs宣言書を公開している。 求職者に向けた採用サイトでも会社情報を公開している。	【今後の目標・達成時期】 採用サイトをリニューアルし、入社後のギャップが少なくなるよう情報を充実させる(2023年) SDGs宣言書更新(年1回) 【目標達成に向けた取組】 採用サイトリニューアルのための外部コンサルとのミーティング実施。 SDGs宣言書内容更新のためのプロジェクトメンバーでのミーティング実施。
5	後継者の確保	○	【主な取組】 後継者確保済。 後継者育成の内容を含んだ社外研修へ幹部メンバーが参加している。 取締役会にて経営方針の方向性統一を図っている。	【今後の目標・達成時期】 個人に頼りすぎない経営体制の構築(2030年) 【目標達成に向けた取組】 経営決定プロセスの見える化。 権限移譲の明確化。 職務権限規程の整備。 経営幹部(取締役・執行役員)メンバーの育成。

6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	<p>【主な取組】 刻々と変化する環境に対応する感性を磨くための環境整備という活動を毎日継続して行う。市場が変化することを前提としてお客様のご要望やお声を収集する。同様にライバル情報も収集する。 BCPにパンデミックの内容を追加。(2022年)コロナ禍による移動制限のためのオンライン会議の実施。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 環境整備活動の継続(毎年) パンデミックの審査にてコロナ感染者が判明した場合の連絡体制の整備を指摘されたので対応(2023年)。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 社員や協力業者の感染が判明した場合の連絡体制を決定し、対応手順を従業員へ周知する。</p>
7	自社以外の経営資源活用	○	<p>【主な取組】 ISO9001・ISO14001・ISO45001の認証および更新は外部専門家をアドバイザーとして配置し、意見を定期的にヒアリングしながら会社経営に活かしている。 WEBページの制作・更新の外注。 採用コンサルティング会社からのアドバイスの活用。 グループ会社からの人材の応援活用。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 専門分野の業務を依頼できるパートナー企業を1社増やす。(2026年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 弁護士・税理士・社労士・金融機関・パートナー企業との連携強化。 取引銀行の支援策の活用を検討する。</p>
8	デジタル化による生産性向上	○	<p>【主な取組】 業務のIT化推進のために情報促進委員会を設置している。 WEB会議システムの導入やチャットツールの活用による業務効率改善。 データ共有・メール・スケジュール共有・表計算・名簿作成・書類作成といった業務効率化のためGoogleWorkspaceの導入。 DX認定取得。(2023年3月)。 工場・製造部門における処理状況(稼働率等)の見える化による稼働状況の把握や業務体制の改善。 会計業務のクラウド化。 産廃帳簿のシステム化や産廃契約のシステム化によるデジタル化の推進</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 DX戦略に基づき必要なスキルを定義しIT勉強会を実施、スキルの均一化を図る。(2024年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 勉強会開催のスケジュールと内容の計画立案。 経営にまつわる数字の共有と分析のためのLookerStudioの導入。</p>
9	雇用の維持・拡大	○	<p>【主な取組】 人事評価制度に沿って毎年昇給する仕組みの適用。 毎年新卒採用を行うことで継続的な事業活動に取り組んでいる。 入社前インターンシップの受け入れや入社前の企業見学・工場見学、適性診断の実施による就職ミスマッチ低減の仕組みづくり。 働き方の相談窓口として組織文化委員会を設置している。 日報での状況把握。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 正社員採用5名以上(毎年) 入社1年以内の退職者0(毎年) 新規事業として解体業の立ち上げ(2023年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 会社説明会開催年2回以上。 新規入社者へOJT適用。 福利厚生拡充や県内水準以上の賃金を目指すことで社員満足度を向上させる。 定期的な個別面談で悩み・相談ができる環境をつくる。</p>
10	人材育成・能力開発	○	<p>【主な取組】 「経営計画書」および「仕事ができる人の心得」に基づいた仕事に臨む価値観の教育。 スキルマップに基づいた技能教育。 資格取得の推進。 階層に応じた外部研修への参加。 社内勉強会の実施。(月1回) 業務の手順化はアニーによるチェックシステムの活用。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 従業員一人ひとりが経営の意識を持てるようになる。(2026年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 経営幹部(取締役・執行役員)メンバーの育成。 新入社員教育やクレーム対応の手順整備。 教育動画配信システム「ラーノ」を用いた従業員向けの業務手順共有。</p>

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】 大雪、大雨などの異常気象により豪雨災害等の発生頻度が高まり、物流が止まり材料および店舗商品の運搬に遅れが出る可能性がある。また、異常気象による出勤停止・停電で作業停止・営業停止による売上減少が懸念される。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 災害が発生しても最低限の業務が行えるよう、会計・販売管理システム・業務報告システム・チャットツールをクラウド化している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 緊急時の連絡網の整備(2023年) ライフラインの確保(2024年) 複数の設備備品購買先を選定し、1社に依存しない仕組みづくり(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 社内連絡先および顧客や取引先も含めた緊急連絡リストを作成し、緊急事態に迅速に対応できる体制を整える。 太陽光発電機の設置や蓄電池の設置。 最低限の備蓄品の準備。</p>
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】 戦争によるサプライチェーン停滞、材料高騰が懸念される。 コロナの再流行による従業員の欠勤、出社不可、オフィス・工場・店舗の消毒作業が必要になる。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 社内感染を防ぐための検温や手指消毒の徹底。 リモートワーク体制の整備。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 複数の設備備品購買先を選定し、1社に依存しない仕組みづくり。(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 新規購買先の情報収集。</p>
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】 車での移動によりCO2排出・地球温暖化等気候変動の一因になっている。 工場および店舗・オフィスの電力使用によるCO2排出。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 営業車をハイブリッド車に転換している。 電気使用量超過を防ぐオンデマンド管理。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 営業車のハイブリッド転換率 40%(2026年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 営業車買い替えの基準を策定する(〇万km走行、使用歴〇年など)</p>
4	【カーボンニュートラル①】 ＜省エネ＞燃料消費量の削減 重点項目	○	<p><KPI> CO2排出量 アスファルト混合物1tあたり 34(kg-CO2)(2023年3月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可</p> <p>【主な取組】 燃料消費量と生産量の記録。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2排出量 アスファルト混合物1tあたり 30(kg-CO2)(2026年時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可</p> <p>【目標達成に向けた取組】 燃料消費量と生産量の記録を解析し経営会議で共有・改善。</p>

5	【カーボニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 アスファルト混合物1tあたり 32 (kg-CO2) (2023 年 3 月時点) ※売上高あたり排出量 (t-CO2/百万円) でも可 【主な取組】 最大の電力消費量のアラームをつけている。 (デマンドコントロール) グラフをつけ記録の見える化をしている。 昼休憩時の消灯、空調の温度設定など基本的な省エネを徹底。 店舗の電気の照度を下げている・LED 化。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 アスファルト混合物1tあたり 25 (kg-CO2) (2026 年時点) CO2 排出量 1 店舗あたり 50%削減 (2030 年度、2013 年度比) ※売上高あたり排出量 (t-CO2/百万円) や基準年に対する削減割合目標などでも可 【目標達成に向けた取組】 毎月の使用電力を監視し、記録を解析し経営会議で共有・改善。 店舗の屋根への太陽光パネルの設置
7	廃棄物の削減 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> 製品販売量に対する総廃棄物発生率 7.3%/年 (2023 年 3 月時点) ※売上高あたり廃棄量 (t/百万円) でも可 【主な取組】 日々予定出荷数量の把握。 必要以上の材料を加熱しない。 ペーパーレス化。 食品廃棄を減らすための値引きシール。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 総廃棄物発生率 3.0%/年 (2026 年度 時点) ※売上高あたり廃棄量 (t/百万円) でも可 【目標達成に向けた取組】 日々予定出荷数量の把握し、記録を解析し経営会議で共有・改善。 店舗販売食品ロス算出、社内共有。
8	水資源の適正な管理	○	【主な取組】 油水分離層の設置し点検を行っている。(月1回) 井戸ポンプを設置し粉塵防止に活用。 清掃活動時の節水。	【今後の目標・達成時期】 水道使用量3%削減 (2026 年、2023 年度比) 【目標達成に向けた取組】 井戸水積極利用の教育 粉塵抑制に節水用シャワーヘッド導入の検討。 清掃時の出しっぱなし防止ポスターの掲示。
9	環境配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 アスファルト廃棄物を粉砕しアスファルト混合物の材料 50%以上有効利用。 コンクリート廃材を粉砕し路盤材 100%有効利用。 ISO14001 の基準を満たし環境に配慮した事業活動。	【今後の目標・達成時期】 アスファルト混合物の有効利用 60%。(2026 年) コンクリート廃材利用 100%の維持。(毎年) ISO14001 の更新 (2023 年 12 月) 【目標達成に向けた取組】 ISO のルールに沿って PDCA サイクルをまわし、環境への配慮を継続的に実施。
10	環境面での社会貢献 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 地域の清掃活動、白砂青松ボランティアへの参加。 除草活動への積極的参加。	【今後の目標・達成時期】 清掃活動・ボランティアへの継続的な参加。(2024 年) 【目標達成に向けた取組】 植樹活動への参加 (年1回) 事務所備品は環境配慮されたグリーン製品を積極的に購入し使用する。